

# 令和5年度

## 上下水道部 経営管理課の方針書

組織名	上下水道部 経営管理課
所属長名	佐藤 寛之

### 1. 組織の使命(ありたい姿)

人々が生活していくうえで不可欠なライフライン「水道」、快適な生活と水循環の保全に欠かせない「下水道」を一体のものとして捉え、持続可能な事業として安定的に維持していくため、経営の効率化と財務基盤の強化を図りながら利用者サービスの充実を目指します。

### 2. 組織の抱える課題(現状)

- ・営業収益の減少への対応
- ・ライフラインである水道・下水道の安定的な事業経営維持
- ・水道料金等の滞納対策
- ・災害発生時における事業継続のための体制整備
- ・水道庁舎の老朽化への対応

### 3. 今年度の『スローガン』

経営戦略に基づく堅実な上下水道事業経営

### 4. 今年度の方針

上下水道事業の財務基盤の強化及び経営の効率化・安定化を進めます

### 5. 今年度の重点取組項目

(1)	実現したい成果	社会情勢の変化に対応した経営の効率化による事業の安定的継続
	取組内容	①水道未加入世帯、下水道未接続世帯への訪問による加入勧奨と事後調査 ②経営を取り巻く環境、経営状況の発信強化(年間広報計画に基づく適時的確な広報に加えた取組) ③老朽化に伴う水道庁舎移転の検討、移転想定スケジュール案の見える化 ④事業の安定的継続のためのBCPIに基づく災害発生時の業務継続体制の確認と共有、見える化 ⑤上下水道事業のDX化及び検針業務の課題解消に向けた水道メータースマート検針の実証実験実施、導入を見据えた具体的な課題の抽出・研究
(2)	実現したい成果	財務基盤の強化と組織的な企業財務スキルの向上
	取組内容	①経営状況の定期的な確認及び部内における情報共有の継続実施 ②社会情勢の変化に対応しつつ経営状況を踏まえた令和6年度予算の編成 ③事業計画と一体化した水道事業経営戦略の改定(令和5年度内に実施) ④水道料金の改定を見据えた情報収集及び手法の検討 ⑤消費税インボイス制度及び手形・小切手全面電子化への確実な対応、事務遂行 ⑥収益向上・経費節減に向けた更なる取組の検討・実施 ⑦企業財務スキル向上のための計画的な研修の実施
(3)	実現したい成果	滞納整理などによる債権回収の強化・継続
	取組内容	①水道お客様センターとの緊密な連携による水道料金、下水道使用料等未納者の財産調査 ②未納者の状況に応じた適時的確な滞納処分の実施による債権回収 ③市外への転居後、連絡が途絶えた未納者の現況調査の徹底 ④過去の滞納処分実例を踏まえた滞納処分実務手順書(公債権、私債権別)の整備

## 6. 方針に対する年度上期(4月～9月)の取組状況

### (1)社会情勢の変化に対応した経営の効率化による事業の安定的継続

- ①水道未加入世帯への訪問(増田町樋場地区17戸)、下水道未接続世帯への訪問(業務委託により71件)
- ②経営を取り巻く環境、経営状況の発信強化として市ホームページに情報発信の基幹ページを新設
- ③老朽化に伴う水道庁舎移転に向けた市長部局との協議を実施
- ④上下水道事業のDX化及び検針業務の課題解消に向け、電力ネットワークを活用した水道メータースマート検針の実証実験の準備調査を実施(R5.8東北電力ネットワーク、料金徴収業務受託者、市の3者による実証実験に係る契約を締結〔実験期間 R5.10～3月、市内30箇所〕)

### (2)財務基盤の強化と組織的な企業財務スキルの向上

- ①経営状況の定期的な確認及び部内における情報共有(5月 年度比較増減要因分析、7月 決算書の詳細追記版)
- ②社会情勢の変化に対応しつつ経営状況を踏まえた令和6年度予算の編成に向けた協議(8月 市長部局財政課との協議)
- ③事業計画と一体化した水道事業経営戦略の改定(5月～ 水道事業計画における事業のあり方検討、9月～ 料金改定率の方向性検討)
- ④水道料金の改定を見据えた情報収集及び手法の検討(近隣団体の比較料金表の作成、料金改定手法事例の調査・情報収集等)
- ⑤消費税インボイス制度への対応(市HPによる情報発信、適用後の業務フロー協議、会計システムへの事業者登録、電子インボイス対応、部内への請求書受領時のチェック項目の周知、セミナー受講ほか) / 手形・小切手全面電子化への対応(金融機関との協議を実施 7月 手形電子化に関する協議、9月 振込手数料についての協議)
- ⑥収益向上・経費節減に向けた更なる取組の検討・実施(6月 財務会計システムの電子決裁導入によるコスト縮減試算、7月 システム開発元への情報提供依頼[RFI]・導入に向けた組織内協議の実施)
- ⑦企業財務スキル向上のための計画的な研修の実施(4,7,8月 計3回 消費税研修の受講)

### (3)滞納整理などによる債権回収の強化・継続

- ①水道お客様センターとの緊密な連携による水道料金、下水道使用料等未納者の財産調査(預金調査 6件、住基調査 15件、税調査 4件)
- ②未納者の状況に応じた適時的確な滞納処分の実施による債権回収(調査実施20件、水道お客様センターとは別に訪問徴収を実施し、3件総額20,988円を回収、催告書送付により1件 23,610円を回収)
- ③市外への転居後、連絡が途絶えた未納者の現況調査の徹底(市外転居した未納者の居所確認調査を行い、催告書を発送)
- ④過去の滞納処分実例を踏まえた滞納処分実務手順書(公債権、私債権別)の整備(構成案に基づき調査方法・法的手続き手順のまとめ、参考となる書類の写しの収集し、暫定版の手順書を作成)

## 7. 年度下期(10月～3月)に向けた課題と取組方針【ギャップと対策】

### (1)社会情勢の変化に対応した経営の効率化による事業の安定的継続

- ①市ホームページへ新設した情報発信の基幹ページにリンクさせた経営を取り巻く環境、経営状況の発信強化(R6.春号 水道だより、料金改定時期を想定したR7年度情報発信のための手法検討・対応予算の措置)
- ②老朽化に伴う水道庁舎移転についての市長部局との協議(R6年度予算へ必要経費計上、具体的移転スケジュール・必要作業等の見える化)
- ④事業の安定的継続のためのBCPに基づく災害発生時の業務継続体制(既存BCP)の部内確認
- ⑤水道メータースマート検針の実証実験(R5.10-R6.3)の実施、スマート検針導入を見据えた具体的な課題の抽出、R6年度以降スケジュール立案

### (2)財務基盤の強化と組織的な企業財務スキルの向上

- ②社会情勢の変化に対応しつつ経営状況を踏まえた令和6年度予算の編成(R6年度収益予測等により協議、予算編成)
- ③水道事業計画と一体化した経営戦略の改定(素案作成の為の協議、素案の組織内決定・議会等への説明[意見聴取]、パブリックコメントの実施、改定)
- ⑤消費税インボイス制度の確実な事務遂行(導入当初のイレギュラー事案への対処、会計システムマニュアルの改定ほか)
- ⑥収益向上・経費節減に向けた更なる取組(R6.10の電子決裁導入に向けた予算措置、契約手続きを実施)

### (3)滞納整理などによる債権回収の強化・継続

- ③市外への転居後、連絡が途絶えた未納者の現況調査の実施(調査対象を絞り込み、訪問による現況調査を実施)
- ④過去の滞納処分実例を踏まえた滞納処分実務手順書(公債権、私債権別)の整備(暫定版に肉付けを行い、担当係内共有を実施)

## 8. 総括(取組みの結果と成果、次年度に向けた課題【結果と成果】)

### (1)社会情勢の変化に対応した経営の効率化による事業の安定的継続

- 【結果・成果】①水道未加入世帯への訪問(延べ47戸訪問、うち28戸へ現況ヒアリングを実施)、下水道未接続世帯への訪問(延べ80戸)による加入勧奨及び追跡現況調査を実施 / ②市ホームページに経営状況を発信する基幹ページを新設し、QRコードの活用による水道だよりからのリンク化を実施 / ⑤水道メータースマート検針の実証実験を実施、導入を見据えた課題を抽出
- 【課題】安定した上下水道事業継続のための庁舎移転のためのスケジュール案及び方針の決定 / ・水道事業における課題・経営状況の発信強化 / ・水道料金等徴収業務委託の次期契約のための要求水準書の作成及び提案上限額の算定

### (2)財務基盤の強化と組織的な企業財務スキルの向上

- 【結果・成果】①経営状況の部内共有を定期実施 / ②R6.3改定の水道事業計画・経営戦略にあわせた令和6年度予算の編成 / ③水道事業計画と一体化させた経営戦略の策定(改定) / ④水道料金の改定を見据えた情報収集を実施 / ⑤消費税インボイス制度への対応(周知含む)、手形・小切手全面電子化へ向けた現況調査・今後の対応方向性のまとめを実施 / ⑦企業財務スキル向上のための研修を受講
- 【課題】経営戦略に沿った的確な事業経営と水道料金改定に向けた料金体系(案)の検討・協議 / 手形・小切手全面電子化への確実な対応のための情報収集及び事務遂行 / ・企業財務スキル向上のための計画的な研修実施(継続)

### (3)滞納整理などによる債権回収の強化・継続

- 【結果・成果】①②未納者の状況に応じた適時的確な財産調査及び滞納処分による債権回収を実施 / ③市外への転居後、連絡が途絶えた未納者の現況調査を実施(16件) / ④滞納処分の法的手順、過去の滞納処分実例を踏まえた滞納整理実務手順書を作成・整備
- 【課題】・水道お客様センターとの緊密な連携による料金等未納者の現況調査と適時の滞納処分による債権回収強化

上下水道部 水道課の方針書

組織名	上下水道部 水道課
所属長名	杉山 達範

1. 組織の使命(ありたい姿)

安全で安心な水道水を絶やすことなく安定的に供給し続ける

2. 組織の抱える課題(現状)

- ・効率的な運営のため、一層の施設統廃合や規模縮小の合理化が必要となっている
- ・経年劣化による施設事故リスクが高まっているものの、計画的な設備更新が進んでいない
- ・環境変化により水源が質・量ともに不安定化しており、その保全が求められている

3. 今年度の『スローガン』

未来につなぐ 横手の水道

4. 今年度の方針

- ・効率的な運営と事故発生抑止のための水道施設整備事業の推進
- ・効率的な運営と中長期的な視点に立った広域連携の推進
- ・安心で安定的な水道水確保のための環境保全の強化

5. 今年度の重点取組項目

(1)	実現したい成果	効率的な運営と事故発生抑止のための水道施設整備事業の推進
	取組内容	・雄物川浄水場関連築造工事の推進 ・老朽管の計画的な更新による事故発生抑止(管路緊急改善事業など) ・水道事業計画改定案の作成及び経営管理課との連携推進
(2)	実現したい成果	効率的な運営と中長期的な視点に立った広域連携の推進
	取組内容	・県を跨いで西和賀町との水道広域化事業の推進 ・広域化推進座談会の定期的開催による管理の一体化に向けた協議
(3)	実現したい成果	安心で安定的な水道水確保のための環境保全の強化
	取組内容	・漏水調査による漏水箇所の早期発見・早期復旧 ・水道水源地の環境保全対策の推進 ・井戸洗浄及び更新による水道水源の保全

## 6. 方針に対する年度上期(4月～9月)の取組状況

### (1) 効率的な運営と事故発生抑止のための水道施設整備事業の推進

- ・雄物川浄水場関連築造工事の推進 配水池工事について、9月中旬に発注し、基礎工事について年度内完成を目指す。
- ・老朽管の計画的な更新による事故発生抑止 上半期に予定している補助・単独工事については発注済み。
- ・水道事業計画改定案の作成及び経営管理課との連携推進 事業見直しを踏まえ計画案を作成済み。現在、経営管理課と連携し財政計画案の調整中。

### (2) 効率的な運営と中長期的な視点に立った広域連携の推進

- ・県を跨いで西和賀町との水道広域化事業の推進 7月に基本協定を締結し、今年度分の2工区は発注済み。
- ・広域化推進座談会の定期的開催 12月中旬に開催予定。(災害連携等をテーマに意見交換するとともに県より国の所管替えに関する情報提供をいただく予定。)

### (3) 安心で安定的な水道水確保のための環境保全の強化

- ・漏水調査による漏水箇所早期発見・早期復旧 9月末時点山内地区軽井沢ポンプ場および山内体育館前配水管での漏水を発見し修理済み。
- ・水道水源地の環境保全対策の推進 山内北地区の水源地に設置した忌避剤入りの柵の効果検証とPFAS(有機フッ素化合物)の随時検査の検討および消防署への聞き取り調査を実施済み。
- ・井戸洗浄及び更新による水道水源の保全 増田中央浄水場取水井の井戸洗浄業務委託について10月の発注予定。

## 7. 年度下期(10月～3月)に向けた課題と取組方針【ギャップと対策】

### (1) 効率的な運営と事故発生抑止のための水道施設整備事業の推進

- ・雄物川浄水場関連築造工事の推進 配水池築造工事(その1)の工期厳守と品質管理の徹底。総事業費の上昇分を明確にするとともに機能を維持しつつ、設計内容の見直しを進める。
- ・老朽管の計画的な更新による事故発生抑止 安全管理と品質管理を前提に、現場フォローアップを進め、すべての工事の工期を厳守する。
- ・水道事業計画改定案の作成及び経営管理課との連携推進 財政計画案に基づく水道料金値上げ幅の内部調整と早期の市議会への提示による協議開始。

### (2) 効率的な運営と中長期的な視点に立った広域連携の推進

- ・県を跨いで西和賀町との水道広域化事業の推進 令和6年度分工事の予算確保。
- ・広域化推進座談会の定期的開催 管理の一体化等につながるような事例紹介を予定している。

### (3) 安心で安定的な水道水確保のための環境保全の強化

- ・漏水調査による漏水箇所早期発見・早期復旧 横手地区については10月より調査に入るが、漏水量の大きな場所の特定に努める。
- ・水道水源地の環境保全対策の推進 山内北地区水源地に設置した忌避剤入りの柵の効果検証と糞尿流入箇所の調査及びPFASの水質検査計画への追加について検討を進める。
- ・井戸洗浄及び更新による水道水源の保全 醍醐浄水場取水井の定期点検を点検ガイドライン(試行段階)に基づき実施予定。

## 8. 総括(取組みの結果と成果、次年度に向けた課題【結果と成果】)

### (1) 効率的な運営と事故発生抑止のための水道施設整備事業の推進

- ・雄物川浄水場関連築造工事の推進 配水池築造工事(その1)は、3月で基礎杭工事が完了し、出来形等の品質も確保できた。また、雄物川浄水場の全体工事費は減築等の設計見直しを行い、2割ほどの増額にとどめた。
- ・老朽管更新による事故発生抑止 老朽管更新は現場のフォローアップを行い、秋田県関連の移設工事以外すべての発注工事を年度内に終えている。
- ・水道事業計画改定案の作成等 経営戦略所管の経営管理課と連携し、今後15年間の投資計画と料金値上げの必要性を加味した財源計画が取りまとめられ、3月末には公表の見込みである。

### (2) 効率的な運営と中長期的な視点に立った広域連携の推進

- ・西和賀町との水道広域化事業の推進 令和6年度予算も確保の見込みとなり、令和6年度内に繰り越し工事を含めて全工事の完成を目指す。
- ・広域化推進座談会の定期的開催 座談会を12月に開催し、職員間交流を深めるとともに広域圏での災害訓練の提案が出され、検討を始める。

### (3) 安心で安定的な水道水確保のための環境保全の強化

- ・漏水箇所の早期発見・早期復旧 漏水調査にて、漏水量の大きい箇所を発見・即修理し、夜間最小流量の改善も図った。
- ・水道水源地の環境保全対策の推進 今年度は寒波による凍結の影響もなかったことから有取率が改善(概ね2.0%向上)する見込みである。
- ・井戸洗浄更新による水道水源の保全 山内北地区水源地にて 忌避剤入り柵の効果を確認し、PFASの水質検査計画への追加、農薬類の臨時検査について検討を進めた。
- ・井戸洗浄更新による水道水源の保全 予定していた醍醐浄水場取水井の定期点検は、取水停止による影響を再検討する必要から延期する。

上下水道部 下水道課の方針書

組織名	上下水道部 下水道課
所属長名	神谷 昭浩

1. 組織の使命(ありたい姿)

持続可能な生活排水処理サービスの提供により、市民の快適な生活環境と良好な水環境を保全する。

2. 組織の抱える課題(現状)

- ・効率的な運営を図るため、施設の統廃合や規模縮小などの合理化が必要
- ・経年劣化による運転効率の低下や破損事故の発生を抑制するための計画的な更新事業
- ・気候変動による大雨を想定した雨水排水対策
- ・事業の継続的運営のための環境保全やSDGsなど社会貢献活動への取り組み

3. 今年度の『スローガン』

持続可能な生活排水処理サービスの提供

4. 今年度の方針

- ・生活排水処理構想に基づく下水道の整備と老朽化施設の長寿命化を図ります。
- ・既存施設の適切な維持管理を行います。
- ・循環型社会形成推進地域計画に基づいた水洗化の推進と下水道ストックマネジメント計画策定の取組を進めます。

5. 今年度の重点取組項目

(1)	実現したい成果	生活排水処理構想に基づく下水道の整備と老朽化施設の長寿命化
	取組内容	・増田地域関ノ口地区の公共下水道の整備 ・公共下水道相野々処理区の横手処理区への接続と既存施設の利活用の検討 ・農業集落排水大森地区・十日町地区・本郷地区の統合と既存施設の利活用の検討 ・農業集落排水機能強化事業による川西地区・上溝地区の機能保全と強化
(2)	実現したい成果	既存施設の適切な維持管理
	取組内容	・処理場や管路、都市下水路の適切な維持管理と取付管の整備 ・十文字地区都市下水路の未整備個所の改修 ・土地区画整理事業が完了した三枚橋地区等の受益者負担金賦課の実施
(3)	実現したい成果	循環型社会形成推進地域計画に基づいた水洗化の推進と下水道ストックマネジメント計画策定の取組み
	取組内容	・浄化槽設置整備事業による水洗化の推進 ・令和6年度制定に向けた下水道のストックマネジメント計画の策定準備 ・令和7年度制定に向けた都市下水路のストックマネジメント計画の策定準備

## 6. 方針に対する年度上期(4月～9月)の取組状況

- (1) 生活排水処理構想に基づく下水道の整備と老朽化施設の長寿命化
  - ・増田地域関ノロ地区の公共下水道の整備  
増田関ノロ地区は第1工区と第2工区を発注し工事中。地域住民への受益者負担金の説明も行っている。
  - ・公共下水道相野々処理区の横手処理区への接続と既存施設の利活用の検討  
相野々処理区での接続工事は終了し、10月1日から供用開始済。既存施設の処理水槽等清掃・消毒を発注済。
  - ・農業集落排水大森地区・十日町地区・本郷地区の統合と既存施設の利活用の検討  
統合事業の工事は全て発注済。現在3工区を実施中。
  - ・農業集落排水事業(強靱化型)による川西地区・上溝地区の機能保全と強化  
川西地区の今年度発注予定の3工区は発注済。上溝地区の今年度の委託も発注済。
- (2) 既存施設の適切な維持管理
  - ・処理場や管路、都市下水路の適切な維持管理と取付管の整備  
施設維持管理の長期継続契約は契約済。マンホールポンプの更新計画に沿った更新工事を発注。取付管の相談に対応した工事を発注。
  - ・十文字都市下水路の未整備個所の改修  
十文字都市下水路改修工事を発注済。
  - ・土地区画整理事業が完了した三枚橋地区等の受益者負担金賦課の実施  
7月賦課に間に合うように事務を進め、完了した。
- (3) 循環型社会形成推進地域計画に基づいた水洗化の推進と下水道ストックマネジメント計画策定の取組み
  - ・浄化槽設置整備事業による水洗化の推進  
今年度から補助メニューが充実した事業をチラシやホームページで案内し、進めている。
  - ・令和6年度制定に向けた下水道のストックマネジメント計画の策定準備  
県と県内市町村が協働で進めている広域補完組織に業務依頼すべく連絡を取っている。
  - ・令和7年度制定に向けた都市下水路のストックマネジメント計画の策定準備  
県と都市下水路整備に係る補助事業等の情報を得て検討を始めた。

## 7. 年度下期(10月～3月)に向けた課題と取組方針【ギャップと対策】

- (1) 生活排水処理構想に基づく下水道の整備と老朽化施設の長寿命化
  - ・増田地域関ノロ地区の公共下水道の整備  
発注済み工事の今年度中の完成を目指す。
  - ・公共下水道相野々処理区の横手処理区への接続と既存施設の利活用の検討  
現在実施中の清掃・消毒委託の推進と来年度以降に利活用できる状態にするための計画策定
  - ・農業集落排水大森地区・十日町地区・本郷地区の統合と既存施設の利活用の検討  
来年度には新大森浄化センターを供用開始できるよう、残工事を完成し関係業務を進める。
  - ・農業集落排水事業(強靱化型)による川西地区・上溝地区の機能保全と強化  
川西地区においては今年度工事の完成を目指し、来年度の準備をする。上溝地区については委託を完了させ来年度の準備を進める。
- (2) 既存施設の適切な維持管理
  - ・処理場や管路、都市下水路の適切な維持管理と取付管の整備  
引き続き管路清掃を実施し、維持管理の業者の報告を受け、指導をする。取付管も相談に応じて進める。
  - ・十文字都市下水路の未整備個所の改修  
発注済み工事の完成を目指す。
  - ・土地区画整理事業が完了した三枚橋地区等の受益者負担金賦課の実施  
実施済。今後は滞納がないように確認し、相談に対応する。
- (3) 循環型社会形成推進地域計画に基づいた水洗化の推進と下水道ストックマネジメント計画策定の取組み
  - ・浄化槽設置整備事業による水洗化の推進  
補助金申請が昨年度以上になるよう相談に対応する。
  - ・令和6年度制定に向けた下水道のストックマネジメント計画の策定準備  
広域補完組織が設立される11月以降には来年度に業務委託できるよう協議を進める。
  - ・令和7年度制定に向けた都市下水路のストックマネジメント計画の策定準備  
都市下水路に関連した補助事業を進めるため準備を進める。  
令和6年度横手市浸水想定区域図の作成準備  
流域治水関連法の改正に伴い浸水想定区域図を作成するための準備を進める。  
令和6年度制定に向けた横手市公共下水道事業計画策定(雨水)の策定準備  
都市下水路を公共下水道に含めるための準備を進める。  
令和7年度横手市公共下水道事業計画変更の準備  
5年に一度更新となるため、その準備を進める。

## 8. 総括(取組みの結果と成果、次年度に向けた課題【結果と成果】)

- (1) 生活排水処理構想に基づく下水道の整備と老朽化施設の長寿命化
- ・増田地域関ノロ地区の公共下水道の整備  
今年度施工分の1、2工区は完成した。令和6年度に増田地域関ノロ地区の全整備完了を目指す。
  - ・公共下水道相野々処理区の横手処理区への接続と既存施設の利活用の検討  
R4繰越の接続管路工事(最終工区)を完成させ、全区間の整備が完了し、相野々処理区を横手処理区へ接続した。  
発注済みである清掃・消毒委託については現在実施中、来年度に完了予定である。  
既存施設の利活用については下水道用資機材、除雪用資材等の保管施設として利用することを予定している。
  - ・農業集落排水大森地区・十日町地区・本郷地区の統合と既存施設の利活用の検討  
R4繰越の機械設備工事と電気設備工事及び場内整備管路工事が完成し、浄化センター整備事業が完了した。  
現在稼働している施設からの切り替えを来年度に行う予定である。  
既存施設の利活用については下水道用資機材、除雪用資材等の保管施設として利用することを予定している。
  - ・農業集落排水事業(強靱化型)による川西地区・上溝地区の機能保全と強化  
川西地区浄化センター更新工事は機械設備・電気設備工事を発注し繰越工事として完成を目指す。マンホールポンプ更新工事は完成した。  
上溝地区については、完了済の「実施計画業務」に基づき来年度からの工事発注の準備を進める。
- (2) 既存施設の適切な維持管理
- ・処理場や管路、都市下水路の適切な維持管理と取付管の整備  
施設保守点検等長期継続契約は契約済。マンホールポンプ更新等も計画通り実施した。来年度も引き続き計画通りに維持管理を進める。
  - ・十文字都市下水路の未整備箇所改修  
十文字地内111m間の排水路整備を完了し、当地区の短期整備計画は終了した。
  - ・土地区画整理事業が完了した三枚橋地区等の受益者負担金賦課の実施  
三枚橋地区等の賦課は実施済。今後は滞納がないように確認し、相談に対応する。
- (3) 循環型社会形成推進地域計画に基づいた水洗化の推進と下水道ストックマネジメント計画策定の取組み
- ・浄化槽設置整備事業による水洗化の推進  
補助メニューが充実した今年度はPRに努めたが、申込数は前年度より減った。今後はよりPRに工夫をして、水洗化の促進を図る。
  - ・令和6年度制定に向けた下水道のストックマネジメント計画の策定準備  
設立した広域補完組織に来年度以降に業務委託できるよう協議を進める。
  - ・令和7年度制定に向けた都市下水路のストックマネジメント計画の策定準備  
設立した広域補完組織に来年度以降に業務委託できるよう協議を進める。
  - ・令和6年度横手市浸水想定区域図の作成準備  
令和6～7年度の二か年により横手市全域の浸水想定区域図の作成をするため、委託業務発注の準備を進めている。
  - ・令和6年度制定に向けた横手市公共下水道事業計画策定(雨水)の策定準備  
都市下水路を公共下水道に含めるための委託業務発注の準備を進めている。
  - ・令和7年度横手市公共下水道事業計画変更の準備  
5年に一度更新となるため、引き続き準備をしていく。